

*Functioning, Disability in OT
Presentation data 3*



統合失調症の生活機能の障害

*Hiroshi Yamane ; OTR, PhD
Chairman of Society of Human and Occupation-Life:SHOL
Professor Emeritus of Kyoto University*

統合失調症とはどのような病か:その不思議

- 人類が誕生したときからあるという
- 100人に1人弱発症するという。それは何を意味するのか？
- 性差はほとんどないという。それは何を意味する？



人間にとって必要なものと関連があるのではと考えてみると

統合失調症とはどのような病か:その不思議

- 思春期から青年期にかけての発症が多い。どうしてなのか？



社会的動物としての成長と関連があるのではと考えてみると

統合失調症とはどのような病か:その不思議

- ネガティブ, 自分の考え, 命令, 対話性などが特徴の幻聴は何を意味するのか？
- 迫害, 関係, 被害的, 注察などが特徴の妄想は何を意味するのか？



症状は私たちに迫る危機を知らせてくれるものと考えてみると

統合失調症とはどのような病か:その不思議

- 原因はいまだ不明。考えられていることは
 - 素因(ストレスへの脆弱性)
 - 環境
 - 契機(進学・就職・独立・結婚などの人生の進路 etc.)



喘息体質と喘息の発作の関連を考えると

統合失調症とはどのような病か:その不思議

- 原因はいまだ不明。
 - しかし→素因(ストレスへの脆弱性)
 - 環境
 - 契機(進学・就職・独立・結婚などの人生の進路 etc.)



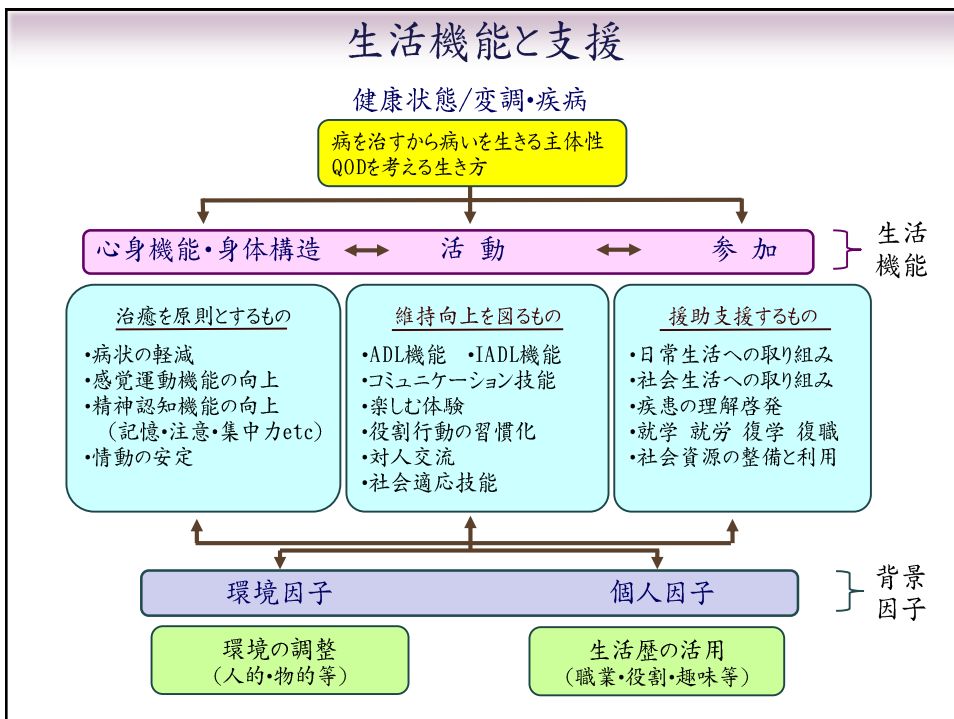
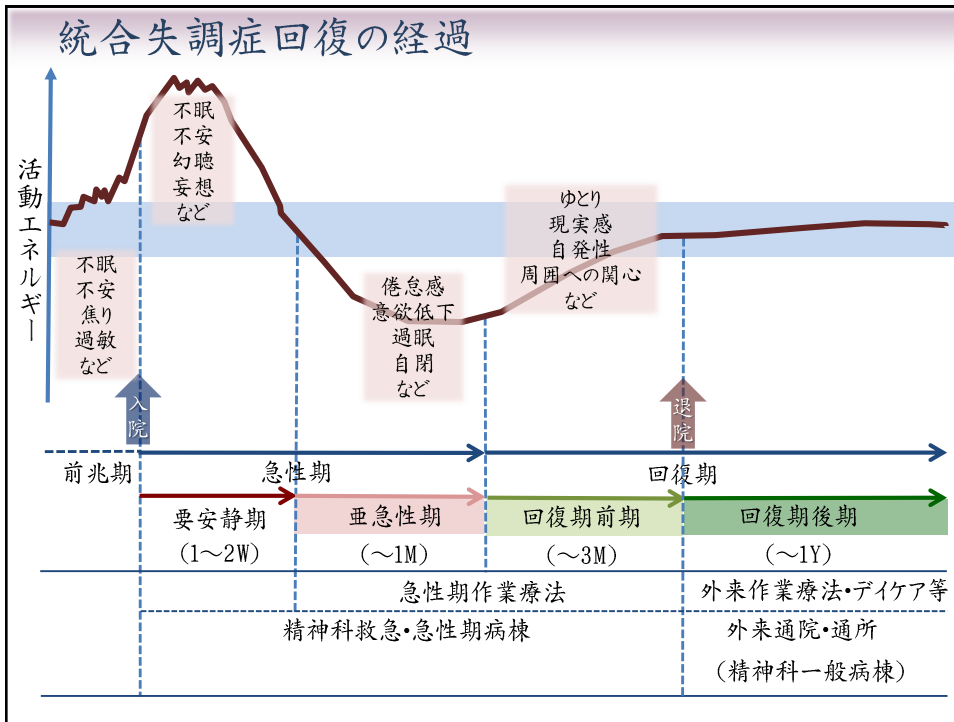
喘息体質と喘息の発作の関連を考えると

統合失調症とはどのような病か

項目	内容
発症の特性	国や時代,文化を問わず生涯有病率が0.5~2%,平均的には約1%弱 小児期や老年期の発症もあるが,大半は思春期から青年期に発症
原因	遺伝的要因と環境要因などによる脳機能の障害
性格傾向	内向的,繊細で傷つきやすい,社交性が乏しいなど
主症状	自我意識の障害(作為体験,意志・意欲の障害) 認知機能の障害(遂行能力や判断能力の低下) 精神運動機能の障害(行動の速度や反応時間を統制する精神機能の抑制や興奮) 知覚の障害(被害的な幻聴や幻視,体感幻覚など) 感情の障害(平板化,疎通性の障害) 思考過程の障害(的外れ応答) 思考内容の障害(被害的な妄想)
病型	妄想型,破瓜型,緊張型,統合失調症後抑うつ,残遺型,単純型,他
経過・予後	多様で3~4割は生活力回復 4~5割は残遺症状があり生活力は低下するが安定 1~2割は再燃,再発,残遺症状などにより生活に支障
一般的治療	薬物療法を中心に,心理教育,作業療法など生活技能訓練

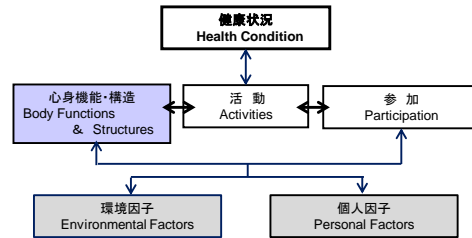
統合失調症とはどのような病か

項目	内容
発症の特性	国や時代,文化を問わず生涯有病率が0.5~2%,平均的には約1%弱 小児期や老年期の発症もあるが,大半は思春期から青年期に発症
原因	遺伝的要因と環境要因などによる脳機能の障害
性格傾向	DSM-5では,統合失調症スペクトラムとしていかなのようなものにま とめられた
主症状	1. 統合失調型パーソナリティ障害 2. 妄想性障害(旧パラノイア) 3. 短期精神病性障害 4. 統合失調症様障害 5. 統合失調症 思考内容の障害(被害的な妄想)
病型	妄想型,破瓜型,緊張型,統合失調症後抑うつ,残遺型,単純型,他
経過・予後	多様で3~4割は生活力回復 4~5割は残遺症状があり生活力は低下するが安定 1~2割は再燃,再発,残遺症状などにより生活に支障
一般的治療	薬物療法を中心に,心理教育,作業療法など生活技能訓練



心身機能の治療

薬物療法や心理社会的療法による病状の軽減
治るものは治す
治らないものは悪化防止



思考の障害(妄想)
知覚の障害(幻覚)
自我意識の障害
意志・欲望の障害
感情の障害
認知機能障害
(社会機能障害の主要原因)

作業療法の役割

病的症状からの早期離脱
(服薬最少量による症状安定)
二次的障害(遷延)の防止
リハビリティネス

思考内容の障害(妄想)の例

被害妄想: 「近所の人に嫌がらせをされる」「みんなが悪口を言う」など思い込む
 関係妄想: 周囲の出来事を自分に関係付けて考える。「あれは悪意の反めかしだ」など
 注察妄想: 常に誰かに見張られていると感じる。「盗聴されている」「監視されている」など
 追跡妄想: 誰かに追われていると感じる。
 心気妄想: 重い体の病気にかかっていると思い込む
 誇大妄想: 患者の実際の状態よりも、遥かに裕福だ、偉大だ等と思い込む
 宗教妄想: 自分は神だ、など思い込む
 嫉妬妄想: 配偶者や恋人が不貞を行っていると思い込む
 恋愛妄想: 相手が自分に好意を持っていると思い込む
 被毒妄想: 飲食物に毒が入っていると思い込む
 血統妄想: 自分は天皇の隠し子だ、など思い込む
 家族否認妄想: 自分の家族は本当の家族ではないと思い込む
 物理的被影響妄想: 電磁波で攻撃されている、など思い込む
 妄想気分: まわりで、なにかたどごとでないことが起きている感じがするなど思い込む
 世界没落体験: 妄想気分の一つ、世界が今にも破滅するような感じがする思い込む

知覚の障害(幻聴が主)

幻聴はしばしば自分を馬鹿にしたりけなすような被害的な内容、「通りすがりに人に悪口を言われる」「家の壁越しに悪口を言われる」、バスに乗ろうとすると「おまえなんか乗るな」という声が聞こえる」などと訴えることが多い。

統合失調症では会話型の幻聴が特徴的

自我意識の障害(作為体験が多い)

考想操作(思考操作):他人の考えが入ってくると感じる

考想奪取(思考奪取):自分の考えが他人に奪われていると感じる

考想伝播(思考伝播):自分の考えが他人に伝わっていると感じる

考想察知(思考察知):自分の考えは他人に知られていると感じる

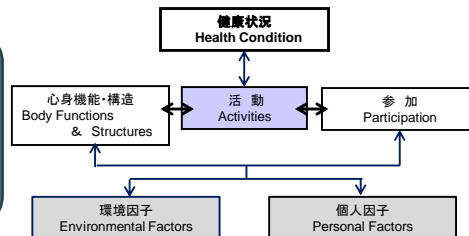
陰性症状に見られる障害

感情の障害(平板化、疎通性の障害、緘黙、拒絶、無為、自閉など)

思考の障害(常同的思考、抽象的思考の困難)

活動の制限

心理社会的療法による活動支援
何ができないかより
どうすればできるか
できないことをできないままにしない



生活維持活動 [ADLの障害
IADLの障害]

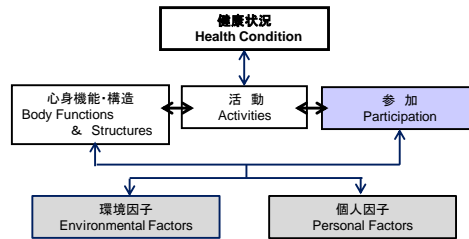
コミュニケーション障害
対人関係技能障害
作業遂行技能障害
社会資源の利用制限
その他の活動の制限

作業療法の役割

生活行為の再体験
生活技能習得
作業を介した認知行動修正
リハビリ支援

参加の制約

日常生活・社会生活への関与に対する支援

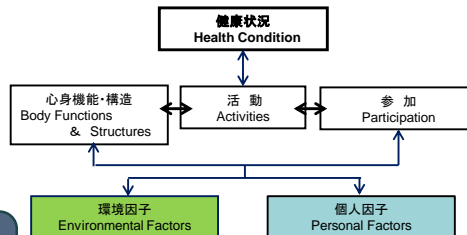


家庭生活
コミュニティライフ
市民生活
社会生活
就労・復職
修学・復学
その他社会活動

作業療法の役割

セルフコントロールの支援
習得技能の生活への汎化
リハビリ支援

背景因子への関与



環境の調整
環境活用支援

交通機関
公共機関サービス
居住環境、生活環境
人的環境
社会文化的環境
など

生活歴の活用
どう生きてきて
何を失ったか

性別、人種、年齢、言語
現病歴、治療歴
生育歴、教育歴、職歴
経験、ライフスタイル、習慣
役割、趣味、特技
など